

ガイアナ内政、経済、外交月間報告 (2024年7月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

7月のガイアナの内政、経済、外交月間報告(カリコムの動きを含む)は以下の通り。

1 概況

- ジャグデオ副大統領は、次期総選挙及び地方選挙は2025年10月～11月の間に実施される可能性が高いことを発表。
- 財務相は、第2四半期の原油及びロイヤリティー収入に相当する約7.8億米ドルを天然資源基金(NRF)に預け入れたと発表。
- 米 S&P Global は、ガイアナの油田の可採埋蔵量は、2015年以降約187億バレルに増加したと発表。同国の石油生産量は2037年に最高日量230万バレルに達すると見込まれている。
- 政府は、NRFから3億米ドルを引き出し国債整理基金に移転したと発表。
- 政府と中国電力建設社は、ガイアナにおける発電所管理のためのガイアナ国家管理センター(Guyana National Control Centre (GNCC))建設に関する860万米ドルの契約を締結。
- 12日、カリコム事務局(ガイアナ)において第20回日・カリコム事務レベル協議が開催された。
- 28～30日、第47回カリコム首脳会合がグレナダの首都セントジョージズで開催された。

2 内政

- (12日報道)ジャグデオ副大統領は記者会見にて、次期総選挙及び地方選挙は2025年10月～11月の間に実施される可能性が高いことを明らかにした。なお、ガイアナ選挙管理委員会(GECOM)は未だ正式な日程は発表していない。

3 経済

- (9日報道)財務相は、第2四半期の原油及びロイヤリティー収入に相当する約7.8億米ドルを天然資源基金(NRF)に預け入れたと発表。
- (10日報道)インド輸出入銀行は、チェディ・ジェーガン国際空港(CJIA)における太陽光発電所の建設を促進するため、政府に250万米ドルの融資枠

を設定。

- （１８日政府発表）米州開発銀行（IDB）は、ガイアナ・ブラジル間及びガイアナ・スリナム間の貿易と物流を促進し、ガイアナの食糧安全保障への取り組みを強化するため、観光・産業・商業省に対して４０万米ドルの融資を承認。
- （２０日報道）アリ大統領はスペースXとテスラの創始者であるイーロン・マスク氏とウェブ会談を行い、イノベーションやテクノロジー分野によるガイアナ経済の発展について協議。
- （２１日報道）米 S&P Global は、ガイアナの油田の可採埋蔵量は、２０１５年以降約１８７億バレルに増加したと発表。同国の石油生産量は２０３７年に最高日量２３０万バレルに達すると見込まれている。
- （２３日報道）政府は、世界銀行と、同国の洪水への適応力と回復力強化を図る目的の沿岸の適応力・回復力（CARes）強化プロジェクトに関する４，５００万米ドルの協定に署名。
- （２５日報道）政府は、NRF から３億米ドルを引き出し国債整理基金に移転したと発表。今回で本年度３回目の資金移動となった。本年度に承認されている引き出し額は総額１５．８６億米ドルであり、現在までの累計引き出し額は８．５億米ドル。
- （３１日報道）政府と中国電力建設社は、ガイアナにおける発電所管理のためのガイアナ国家管理センター（Guyana National Control Centre (GNCC)）建設に関する８６０万米ドルの契約を締結。同建設期間は１３か月を見込む。

４ 外交

- （２７日報道）ドミニカ共和国の技術職業教育訓練（TVET）プログラムの知見共有及び双方の協力やパートナーシップ促進等を図るべく、産業訓練委員会（BIT）は労働省を通じ、ドミニカ共和国の国立技術・職業訓練機関（INFOTEP）と覚書を締結。

５ カリコム

- （２２日ガイアナ報道）１２日、カリコム事務局（ガイアナ）において第２０回日・カリコム事務レベル協議が開催され、日本とカリコムは、気候変動や自然災害対策、農業技術等における協力強化に向けた意気込みを述べたと共に、女性・平和・安全保障（WPS）や再生可能エネルギー、食糧安全保障、市民保護等の分野における技術協力の可能性を探った。
- （２７日セント Kitts 報道）カリコム傘下のカリコム民間セクター機関（CPSO）、ニュージーランドの Plant & Food Research 社（PFR）及び TT の Caribbean Chemicals & Agencies 社は、TT におけるサルガッサム海藻をバイオスティミュ

ラントや農業用の堆肥等に加工作大規模試験の開始及びカリコム加盟国におけるバイオ燃料のパイロット処理施設建設計画に合意する覚書を締結。

●（２９日グレナダ大統領府発表）２８～３０日、第４７回カリコム首脳会合がグレナダの首都セントジョージズで開催された。

●（３０日カリコム発表）第４７回カリコム首脳会合にて、キュラソーが６番目の準加盟国・地域として正式に承認された。